



新潟ライオンズクラブ
第38回(2014~2015年度)

双葉賞表彰式次第

1. 開式の言葉 新潟ライオンズクラブ会長 L. 恵 盛 良

2. 表彰状贈呈 新潟ライオンズクラブ会長 L. 恵 盛 良

3. 体験発表

団体表彰 新潟市立鏡淵小学校 ネットワーク委員会

新潟市立白根第一中学校 ボランティア委員会

4. お祝の言葉 新潟市教育委員会学校支援課

副参事(指導主事) 小林 俊 輔 様

第38回 双葉賞 受賞校一覧表

<小学校の部>

	学校名	件数	学年	児童数	氏名又は名称	備考
1	鏡淵小学校	1件	5、6年生(団体)	10名	ネットワーク委員会	
2	沼垂小学校	1件	4~6年生(団体)	18名	器楽部「バンビ」	
3	〃	1件	1~6年生(団体)	22名	万代太鼓「鼓助」	
4	浜浦小学校	1件	6年生(団体)	70名	第6学年児童	
5	亀田小学校	1件	6年生(団体)	74名	6年生	
	合計	5件		189名		

<中学校の部>

	学校名	件数	学年	生徒数	氏名又は名称	備考
1	亀田西中学校	1件	1~3年生(グループ)	17名		
2	白根第一中学校	1件	1~3年生(団体)	24名	ボランティア委員会	
3	〃	1件	1~3年生(団体)	85名	生徒会本部役員	
4	巻東中学校	1件	1~3年生(団体)	40名	巻東中学校JRC委員会	
5	小須戸中学校	1件	1~3年生(団体)	37名	ボランティア委員会	
6	東石山中学校	1件	1~3年生(団体)	27名	合唱部	
7	〃	1件	1~3年生(団体)	65名	吹奏楽部	
	合計	7件		295名		

<集計表>

	個人	グループ	団体	合計
小学校	—	—	5件(189名)	5件(189名)
中学校	—	1件(17名)	6件(278名)	7件(295名)
合計	—	1件(17名)	11件(467名)	12件(484名)

小学校 団 体 賞

学校名	対象者名	推薦理由	学校からの推薦要旨
鏡 淵 小 学 校	ネットワーク委員会 (10名)	地域活性化のため、子ども議会を開き「地域マップ作り」等の活動を議決、実行している	当鏡淵小学校校区は、少子・高齢化が急速に進み、地域活性化が緊急の課題となっている。このことに危機感をもったネットワーク委員会は、地域の活性化について地域の人と共に話し合う「子ども議会」を新潟市議場を会場に毎年開いている。この取組は、マスコミの関心が高く、今年度、新潟県にある全てのテレビ局の取材を受けている。過去3年間において、地域自慢をマップに載せ、鏡淵小学校区全戸配付、白山駅や新潟市役所に置く「地域マップ作り」、地域の皆様と子どもが共に楽しむ天然芝のグラウンドを使った「グラウンドゴルフ大会」、地域の皆様と子どもと協力して挑戦する「ギネス大会」が議決、実行されている。この子どもたちの取組に対する地域の皆様の期待は非常に大きい。地域活性化の一役を担っていると確信している。
沼 垂 小 学 校	器楽部「バンビ」 (13名)	老人福祉施設を訪問し、器楽演奏を通してお年寄りと交流している	一昨年より、毎年校区にある老人福祉施設(さわやか日の出館、ニチイケアセンター新潟中央)を訪問し、器楽演奏を通して交流をしている。 演奏曲目について、リクエストに応じたり、入所者のお年寄りに喜んでもらえるような曲を選んだりしている。 毎年、子どもたちの演奏を楽しみにしている入所者が多い。
同 上	万代太鼓「鼓助」 (22名)	老人福祉施設を訪問し、万代太鼓の演奏を通してお年寄りと交流している	5、6年前から老人福祉施設訪問をしている。校区内に限らず、ここ2、3年で訪問施設を増やしている。(さわやか日の出館、しんあい園、河渡の郷、ニチイケアセンター、ケアハウス有隣、沼垂ニチイ、デイサービスYOUなかの、など)1年間に5～6施設を訪問し、入所者のお年寄りに大変喜んでもらっている。 迫力ある万代太鼓の演奏で交流しているが、依頼があれば校歌も一緒に合唱する。

小学校 団 体 賞

学校名	対象者名	推薦理由	学校からの推薦要旨
浜 浦 小 学 校	第6学年児童 (70名)	毎朝校庭や校舎の清掃をし、下級生の良いお手本になっている	6学年児童は、毎朝登校後、自分たちで場所を分担し、年間を通して、校庭や校舎内の美化活動に自主的に取り組んでいる。 玄関ポーチにたまった砂や、アプローチにたまったおびたしい量の木の葉などを集めて取り除き、登校する児童や来客、地域の方にも心地よさを提供している。また、校舎内では児童玄関から廊下、ホール、階段にわたる広い範囲を、隅々に気を付けながら清掃している。中には、人目に着かない場所にもそっと出向き、清掃している姿も見られた。 伝統的に行われているこのボランティア活動は、取り組んでいる6学年児童の心とともに下級生の心にも愛校心と誇りを育てることにつながっている。 貴クラブ様から表彰をいただくことが、児童の励みとなり、一層の意欲向上につながっている。
亀 田 小 学 校	6年生(74名)	毎朝校舎の清掃、校旗の掲揚を行うなど、下級生の良いお手本になっている	亀田小学校には、古くから受け継がれている伝統的な活動がある。それが6年生の「朝のボランティア活動」である。毎朝、下級生のために玄関をはじめ、階段や廊下など校舎内の清掃をしたり、校内の見回りをしたりしている。天気の良い日には欠かさず校旗の掲揚、降納を行うなど一人一人が率先して活動に取り組んでいる。年度末には5年生を誘って共に活動し、清掃や校旗の掲揚の仕方を伝えている。こうした暑い日も寒い日も一生懸命にボランティア活動に取り組む奉仕の姿勢は下級生の範となる姿であり、り、代々の6年生から引き継ぎ、亀田小学校の礎を築いている。6年生の年間を通した自主的な取組は賞賛に値すると考え、双葉賞の候補として推薦する。

中学校 グループ賞

学校名	対象者名	推薦理由	学校からの推薦要旨
亀田西中学校	やまざき ゆめ 山崎 結女 (3年生) かわさき ゆうか 川崎 優果 (3年生) いしざわ かえで 石澤 楓 (3年生) まえだ りさ 前田 理佐 (2年生) はたけ やまきょう 畑山 恭平 (2年生) すが い かい 菅井 凱 (2年生) とらさわ ひとみ 虎澤 一充 (2年生) いいぬま りくと 飯沼 陸大 (2年生) ほし のぞみ 星野 想来 (2年生) たかえり な 田高 絵莉奈 (2年生) かやもり ひとや 萱森 元弥 (1年生) ひら いちだい 平石 大輝 (1年生) かじ い はる 藤井 陽生 (1年生) さわぐち ゆうと 澤口 優翔 (1年生) もり た らん 森田 蘭 (1年生) ほん ま まこと 本間 真琴 (1年生) にっ た り 新田 有理 (1年生)	高齢者の冬のゴミ出しに率先協力している	<善行の内容> 亀田西中学校区内の二つのコミュニティ協議会の「高齢で冬期間ごみ出しが困難な家庭のごみ出しを手伝ってほしい」との要望に応え、亀田西中学校の有志で「朝のごみ出しボランティア活動」を行っている。家の前に出されたごみの袋を、登校時に中学生がごみステーションまで運ぶ活動である。コミュニティ協議会の方が来校して呼びかけを行い、希望する中学生が自ら名乗り出て活動に取り組んでいる。 <善行の期間> 平成26年12月1日～平成27年3月20日

中学校 団体賞

学校名	対象者名	推薦理由	学校からの推薦要旨
白根第一中学校	ボランティア委員会 (24名)	アルミ缶回収を実施し、収益金で社会福祉協議会に必要なものを贈っている	年間3回、ボランティア委員会がアルミ缶回収を地域に呼びかけて実施している。昨年度からは、小学校にも呼びかけて合同で実施している。集まった収益金で、南区の社会福祉協議会に車いすやタオル等必要とするものを継続して贈っている。
同 上	生徒会本部役員 (85名)	白根大凧合戦期間中、会場の清掃を行っている	毎年、白根大凧合戦の期間中に生徒会本部役員と呼びかけに応じたボランティア生徒が、凧合戦会場やお祭り会場の清掃を自主的に行っている。
巻東中学校	巻東中学校 JRC委員会 (40名)	資材置場となっていた花壇を復活させた 募金活動にも積極的に協力した	校舎改修の資材置場となっていた花壇を復活すべく飛び散っていたガラスの破片を一つ一つ拾い、土を耕し、花を植え、はびこっていた雑草を根気強く抜き、6月～10月まで休まず毎日水やりを行うことで生徒の心を癒す花壇を保持した。また、東日本大震災、緑の羽根、赤い羽根、日本ユニセフなどへ義援金を贈るべく募金活動を積極的に行った。 冬場は来春に備え、チューリップとヒヤシンスの球根を植えた。また、校舎内でも生徒の心を明るくすべくポインセチアの花の世話をしている。
小須戸中学校	小須戸中学校 ボランティア委員会 (37名)	数々の奉仕活動に積極的に参加協力した	4/13 小須戸親水公園クリーン作戦活動参加 6/1 菩提寺山ハイキングボランティア呼びかけ、参加 6/14 老人デイサービスセンター小須戸へ奉仕活動の参加 7/2 山の手ふれあい夏祭り 8/17 小須戸商工会祭りへの呼びかけ、参加 8/8 なごみの会レクリエーションボランティア参加 10/11 キャンドルナイトボランティア活動呼びかけ、参加 10/27 ワークセンターほほえみへ奉仕活動の参加 その他赤い羽根共同募金、ユニセフ募金呼びかけ活動。 年間を通してペットボトルキャップ回収。 以上の活動を行ってきた。

中学校 団 体 賞

学校名	対象者名	推薦理由	学校からの推薦要旨
東石山中学校	合唱部 (27名)	合唱や吹奏楽の演奏会を開催して、地域行事を盛り上げた	地域に出向いて、合唱や吹奏楽の演奏会を開催して、地域行事を盛り上げている。 南中野山小学校で開催されるチャリティーコンサートや近隣の福祉施設でのイベントに協力したり、昨年度は東区の老人会にも参加したりした。合唱や演奏を通して、地域の方々と触れ合い、小学生からお年寄りまで、参加した皆さんから喜んでいただいて、地域の活性化に貢献した。
同 上	吹奏楽部 (65名)	"	同 上

新潟ライオンズクラブ

ライオンズクラブとは

ライオンズクラブとは、1917年に創設されてから、今日では世界210の国や地域に46,322ものクラブがあり、それぞれのクラブが属する地域や人々への奉仕活動や世界規模の活動まで幅広く活躍しています。(2014.12.31現在)

我々ライオンズクラブは地域社会に対する感謝の気持ちを忘れず、豊かで明るい未来のために奉仕活動を続けています。

目的

- ・世界の人々の間に相互理解の精神を培い発展させる。
- ・よい施政とよい公民の原則を高揚する。
- ・地域社会の生活、文化、福祉および公德心の向上に積極的関心を示す。
- ・友情・親善・相互理解のきずなによってクラブの間の融和をはかる。
- ・一般に関心のあるすべての問題を自由に討論できる場を設ける。ただし政党、宗教の問題をクラブ会員は討論してはならない。
- ・奉仕の心を持つ人々が個人の経済的報酬なしに社会に奉仕するようはげまし、また商業工業、専門職業、公共事業および個人事業の能率化をはかり、道徳的水準をさらに高める。

モットー

We S e r v e

スローガン

Liberty Intelligence Our Nation's Safety
自由を守り、知性を重んじ、我々の国の安全をはかる

ライオンズの誓い

われわれは知性を高め 友愛と相互理解の精神を養い
平和と自由を守り 社会奉仕に精進する

《新潟ライオンズクラブ事務局》

〒951-8067

新潟市中央区本町通八番町 1316 番地 白勢第一ビル 4F

TEL 070-5365-5306

第38回(2014~2015年度)

双葉賞表彰式



日時 2015年2月19日(木) 16:15~

会場 ホテルオークラ新潟

新潟ライオンズクラブ